

**製品名: c-Rel (リン酸化 Ser503) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04499**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	REL
別名	REL; Proto-oncogene c-Rel
遺伝子 ID	5966.0
SwissProt ID	Q04864
免疫原	抗血清は、Ser503 のリン酸化部位周辺のヒト Rel 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 470-519

**背景**

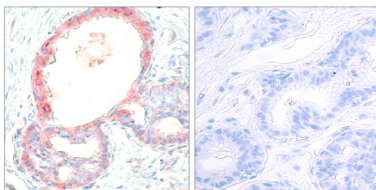
この遺伝子は、Rel 相同ドメイン/免疫グロブリン様フォールド、プレキシン、転写因子 (RHD/IPT) ファミリーに属するタンパク質

をコードします。このファミリーのメンバーは、アポトーシス、炎症、免疫応答、および発癌プロセスに関与する遺伝子を制御します。このプロトオンコゲンは、Bリンパ球の生存と増殖に役割を果たします。この遺伝子の変異または増幅は、ホジキンリンパ腫を含むB細胞リンパ腫と関連しています。この遺伝子の一塩基多型は、潰瘍性大腸炎および関節リウマチの感受性と関連しています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014年4月]、機能: 分化およびリンパ球新生に関与する可能性のあるプロトオンコゲン。NF- $\kappa$ B は、ほぼすべての細胞型に存在する多面的転写因子であり、炎症、免疫、分化、細胞増殖、腫瘍形成、アポトーシスなど、多くの生物学的プロセスに関与しています。NF- $\kappa$ B は、Rel 様ドメイン含有タンパク質 RELA/p65、RELB、NFKB1/p105、NFKB1/p50、REL、および NFKB2/p52 によって形成されるホモまたはヘテロ二量体複合体です。二量体は標的遺伝子の DNA の  $\kappa$ B 部位に結合し、個々の二量体は異なる  $\kappa$ B 部位に対して明確な親和性と特異性を持って結合することができます。異なる二量体の組み合わせは、それぞれ転写活性化因子または転写抑制因子として機能します。NF- $\kappa$ B は、翻訳後修飾や細胞内区画化などのさまざまなメカニズム、および他の補因子やコリプレッサーとの相互作用によって制御されます。NF- $\kappa$ B 複合体は、NF- $\kappa$ B 阻害因子 (I $\kappa$ B) ファミリーのメンバーと複合体を形成し、不活性状態で細胞質内に保持されます。従来の活性化経路では、I $\kappa$ B は様々な活性化因子に反応して I $\kappa$ B キナーゼ (IKK) によってリン酸化され、その後分解されて活性 NF- $\kappa$ B 複合体が遊離し、核に移行します。NF- $\kappa$ B ヘテロ二量体 RELA/p65-c-Rel は転写活性化因子です。類似性: 1 つの RHD (Rel 様) ドメインを含みます。サブユニット: NF- $\kappa$ B p65-c-Rel 複合体の構成要素。NF- $\kappa$ B p50-c-Rel 複合体の構成要素。NF- $\kappa$ B p52-c-Rel 複合体の構成要素。ホモ二量体; NF- $\kappa$ B c-Rel-c-Rel 複合体の構成要素 (類似性による)。NKIRAS1 と相互作用する。NFKBIB と相互作用する (類似性による)。NFKBIE と相互作用する。

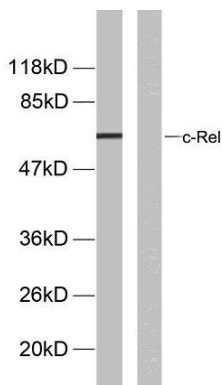
## 研究分野

シグナル伝達

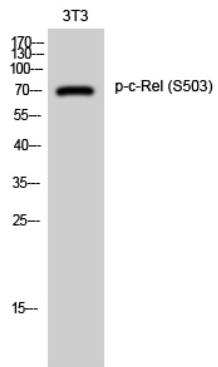
## 画像データ



Rel (リン酸化 Ser503) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



MDA-MB-435 細胞ライセートの Rel (リン酸化 Ser503) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した Phospho-c-Rel (S503) ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウエスタンブロット解析。